



PTA新聞

3月号

発行所/福岡県PTA連合会
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50
福岡県吉塚合同庁舎5階
TEL092-643-7766 FAX092-643-7767
発行人/鬼頭 良典
編集/広報委員会

県P連ホームページアドレス
https://fukuokaken-pta.jp



Special Interview

「きらりと輝く九州人大賞」大賞受賞

県P広報委員会

枝松俊雄さん × 大谷仙覚 委員長



令和6年度「きらりと輝く九州人大賞」で、新宮町立立花小学校PTAから推薦した枝松俊雄さんが大賞に輝きました。そこで、福岡県PTA連合会（県P）の大谷広報委員長が枝松さんに突撃インタビュー！
80歳を超えて子どもたちのために元気に活動を続ける原動力や、その思いを伺いました。



「きらりと輝く九州人大賞」受賞記念祝賀会の写真。先生方や児童、保護者70名以上が集まって受賞を喜び合いました

子どもたちの楽しそうな顔が見たくて、18年。

【12月某日、立花小学校にて】

大谷 今日はよろしくお願ひします。おひげが立派ですね（笑）。
枝松 今日はクリスマス会で、サンタの格好でマジックを披露したんです。毎年クリスマスにはサンタになるので、10月頃からひげを伸ばし始めます。

大谷 立花小学校の読み聞かせ団体に所属されて、小学校や幼稚園での読み聞かせやマジックショーで子どもたちを楽しませてくださっているんですね。
枝松 本業は造園業で、校内の木の伐採や除草も行っているんですよ。

大谷 入学式や卒業式には「枝松ロード」と呼ばれる花道を児童が歩くのか。
枝松 竹を切り出して筒にし、色つきティッシュで桜の飾りを作って体育館に並べていたら、いつの間にか「枝松ロード」と呼ばれるようになったんです（笑）。この道を通って入学した子どもたちが6年後

にまたこの道を歩いて卒業していく。その光景を毎年見られるのがとてもうれいんです。
大谷 アスファルトを歩いても足跡は残らないけれど、花道には足跡が残っていくんですね。

大谷 このような活動を始めてどれくらいですか？
枝松 18年になります。大谷時代の児童文化研究会の経験が原点。退職後に立花小で読み聞かせを始めました。斎藤隆介さんの『モチモチの木』や『花さき山』が好きで、子どもたちにもよく読んでいます。地域の歴史や民話なども知ってほしいと、地域に残る伝説をもとにした紙芝居も作ったんです。

大谷 歴史など調べるのが大変ではなかったですか？
枝松 脳トレになるからちょうどいいです。木の伐採は筋トレ。脳トレと筋トレで健康づくりになってます（笑）。

大谷 「きらり」の大賞を受賞されました。おめでとうございます！
枝松 大きなことじゃないけど、できることを自分なりにさせてもらっているというだけなんです。もう年で体もきついたのでそろそろ...と思っていたんですが、賞をいただいた皆さんにも祝って

やめられなくなりました（笑）。
大谷 原動力は何でしょう？
枝松 やはり子どもたちの笑顔や、保護者の方々の感謝の言葉ですね。忘れられないのは三苦小学校で読み聞かせをした時、一人の女の子から「今日初めて本が好きになりました」と手紙をもらったんです。うれしくて、その手紙は今でも大切に手帳に挟んでいます。また「枝松ロード」を見た保護者の方々から「子どもが喜んでいました」という声をいただくたびに、続けてきて良かったと感じます。

大谷 まさに、今の季節の土になっていく落ち葉が春の芽を育てていくような活動ですね。これからも健康に気をつけて楽しんで活動が続けられてください。今日はありがとうございました！



読み聞かせやマジックショーで子どもたち大喜び



入学式、卒業式で児童が歩く手作りの「枝松ロード」

令和6年度

日P表彰 喜びの声

11月15日、令和6年度の日本PTA全国協議会年次表彰式及び第46回全国小・中学校PTA広報紙コンクール表彰式が行われました。受賞された3校の喜びの声をお届けします。

令和6年度 日本PTA全国協議会会長表彰

◎団体
行橋市立泉小学校保護者教師会
今回、日P団体表彰を受賞したことは、これまでの泉小学校のPTA活動が認められたのだと感じ、とてもうれしく思います。特に九P佐賀大会で発表したスポーツフェスタ・逃走中は、発表をきっかけに他の単Pでも開催され、子どもたちの笑顔につながれたことが、今後の活動の励みにもなりました。（泉小PTA会長 藤原健太郎）



おめでとうございます！

表彰式に出席された皆さん。写真左から泉小学校長先生、鬼頭県P会長、前原南小前PTA会長、桜原小広報の杉村さん

第46回 全国小・中学校PTA広報紙コンクール入賞

◎日本教育新聞社社長賞
糸島市立前原南小父母教師会「広報みなみ」
今回の受賞は、先生方やPTA役員・広報部員さんのご指導とご支援の賜物だと思います。表紙写真、校長・会長へのQ&A、4年生とコラボした安全マップ、思い出すごろくなど、本校ならではの記事ばかりで、思い出深い紙面となりました。本当にありがとうございました。（広報部長 中西美紀）
◎佳作
宇美町立桜原小PTA「さくらばる」
文章には人を動かす力があります。生成AIで文章を生み出す時代に、最新の技術を駆使しなくても情報を伝えられるのが新聞の紙面です。目指すは日本一のPTA新聞。先生方や保護者のみなさんに寄り添い、PTA活動のきっかけになれるような新聞でありたいと思います。（広報委員長 杉村ひとみ）

その他、以下の方々日本PTA全国協議会会長表彰で個人表彰されました。松尾和昭、高津レミ、清原龍彦、香月まゆみ、熊本友和、佐藤和徳 ※敬称略

3月号 もくじ

- 1面 ▶▶▶ 九P「きらりと輝く九州人大賞」大賞 枝松俊雄さんインタビュー 日P表彰者一覧
- 2-3面 ▶▶▶ ブロック研修会レポート
- 4-5面 ▶▶▶ 単Pが主役！PTA通信
- 6面 ▶▶▶ 【市・町・村】代表者会議レポート
- 8面 ▶▶▶ 食べるってなあに 学ビバ！！FUKUOKA 2024 福岡市大会レポート 令和7年度PTA役員研修会のお知らせ

令和6年度

ブロック研修会レポート

毎年、講演会や実践発表など多彩な企画で「面白かった」「勉強になった」と好評のブロック研修会。令和6年度も多くの学びを共有できました。

福岡ブロック研修会

参加人数
130名

令和6年11月4日(月)
会場：筑紫野市生涯学習センター さんあいホール

講演：「寝る子は育つは、ホント！」
講師：筑紫女学園大学 人間科学部 准教授・大西 良 氏



今年度の福岡ブロック研修会は、筑紫女学園大学の西大先生をお迎えし、「寝る子は育つは、ホント！」のテーマで講演会を開催いたしました。会員130名に参加いただき、睡眠の大切さ、SNSなどのメディアとの関わり方についてご講演いただきました。大変興味深いテーマで、家庭での過ごし方や子どもへの接し方について学ぶべき内容が凝縮されておりました。「睡眠がなぜ必要なのか」「規則正しい生活リズムの重要性」「メディア依存対策は、端末を取り上げるのではなく、他に興味をもてることをみつける」など、新しい視点でのご意見でした。参加された方からは「丁寧な講演でわかりやすかった」「依存の話は新たな気づきでした」「今日学んだ内容は本校でも啓発していきます」との感想をいただきました。



(福岡ブロック会長 荒瀬齊志)

大西先生の講演

南筑後ブロック研修会

参加人数
560名

令和6年11月17日(日)
会場：大牟田文化会館 大ホール

テーマ：今こそ繋がりを活かし、協働するPTA Wa (環、輪、和) となり、子どもたちに向かい合おう！

オープニングセレモニー：けんざかいだいじゃやま 県堺大蛇山
実践発表：大牟田市立駿馬小学校PTA
「持続可能な「キョウイク」へ向けた取り組み」

講演：「子どもの邪魔をしない教育と次の社会のためのヒント集」
講師：よしただ トークショーコーヒー代表・吉田田タカシ 氏

今年度の南筑後ブロックでは、オープニングセレモニーとして「県堺大蛇山」の皆さまに大蛇山のお囃子・演舞を披露していただいたあと、大牟田市立駿馬小のPTA会長に実践発表として学校・地域・PTAが連携した取り組みを紹介していただきました。

後半では講師としてお招きした吉田田タカシ先生に「子どもの邪魔をしない教育と次の社会のためのヒント集」と題して講演を行っていただきました。先生が行っておられる活動をもとに話される数々のお話は、これからの子育て・PTA活動に役に立ちそうな内容でいっぱいでした。今回の講演会が今後のPTA活動の一助になればと思っております。

ご参加いただきました皆さま、研修会を開催するにあたりご尽力いただきました皆さま、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

(南筑後ブロック会長 永田健一)



「県堺大蛇山」による演舞や吉田田タカシ先生の講演など盛りだくさんの内容でした

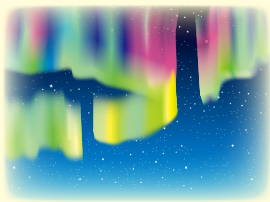
筑豊ブロック研修会

参加人数
135名

令和6年11月17日(日)
会場：香春町町民センター 町民ホール

テーマ：今を見つめ、共に創る
～持続可能なPTA活動をめざして～

講演：「オーロラの大地から」
講師：写真家・松本紀生 氏



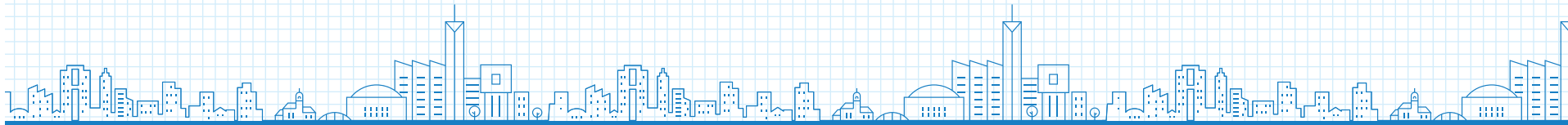
本年度の研修会は関係各校の負担を少しでも減らすため、割当の動員は行いませんでしたが、135名の方に参加いただきました。

写真家の松本先生には、先生持ち込みの迫力ある音響設備と、日本ではとても見られないアラスカの大自然の映像とともに、貴重な体験をお話いただきました。厳しい環境のアラスカに単身で行くことも、そこで現れるのか分からないオーロラを待つことも、誰にでもできることではありませんが、挑戦し続けることの大切さを実感しました。環境問題にも触れていただき、「私たちにできることはちっぽけかもしれないけれど、何もしない選択肢はないのだ」と改めて考えることができました。最後に、子どもたち向けの講演を行った動画を拝見しましたが、会場中に響く感動の音が印象的で、次回はぜひ子どもたちと共有したいと思いました。ご参加いただいた皆さま、ご準備いただいた皆さま、ありがとうございました。

(筑豊ブロック会長 岩谷裕子)



松本先生の講演では美しいオーロラの写真を見せていただきました



北九州ブロック研修会

参加人数
226名

令和6年11月28日(木)
会場：あしや夢リアホール

実践発表：水巻町立頃末小学校PTA
「家族・地域・学校が大好き！
～感謝・あいさつ・協力でつながるコミュニ
ティスクール 頃末小学校のPTA活動」

講演：「野球人生を通して…」
講師：新垣 渚氏



新垣氏の講演



今年度の北九州ブロック研修会は、「家庭・地域・学校が大好き！」のテーマでの実践発表と、新垣渚氏を迎え「野球人生を通して…」の演題で講演をいただきました。

新垣氏の講演では、監督・コーチとしての子どもたちとの関わり方などの経験談をお話いただき、新たな視点での気づきを得た参加者も多かったと感じています。

また頃末小学校の実践発表では、学校・地域・家庭の連携のための「対話」や「子どもの参画」などすぐにも取り入れたいと思える、特色を活かした活動が多くありました。

今回の研修会を通してPTAの活性化、そして何よりも子どもたちの生き生きとした活動が増えていくことを祈念いたします。ご協力いただいた皆さまありがとうございました。

(北九州ブロック会長 吉本光博)



頃末小PTAの実践発表

北筑後ブロック研修会

参加人数
411名

令和6年12月1日(日)
会場：めくばーる町民ホール

テーマ：心豊かでたくましく生きる子どもを育むPTA活動

実践発表：①筑前町立東小田小学校PTA
「なのみっ子のために…
～できることを できるかたちで～」

②筑前町立夜須中学校PTA
「子どもたちの明るい未来のために！」

講演：半農半芸で育てる自分らしさ
「～農業×エンターテインメント～」

講師：朝倉幸男氏

今年度の北筑後ブロック研修会は会員400名を超える皆さまに参加いただきました。実践発表では筑前町立の2校より「子どもたちのためにできること」や「子どもたちの声を吸い上げて」PTA活動でできる事を発表し、アンケート結果ではたくさんの賛辞の声をいただき、朝倉幸男さんの講演でも楽しみで面白かったなど感想をいただく事ができました。

PTA活動は時代に応じて変化していき、活動に正解はないからこそ、この研修会を参考に少しでも活動に活かしていただければと思います。

(北筑後ブロック会長 石井亮多)



東小田小の実践発表と朝倉幸男さんによるミニコンサート

京築ブロック研修会

参加人数
162名

令和6年12月7日(土)
会場：行橋市立行橋小学校体育館

テーマ：親学～人として、大人として、子どもたちに誇れる親の姿～
実践発表：テーマ「家庭・地域の教育力向上をめざすPTA活動のあり方」

①行橋市立今元小学校PTA
「今元小学校 PTA 活動について ～できるときに できるひとができることを～」

②吉富町外一市組合立吉富中学校PTA
「これからも持続可能なPTA活動の取組」

講演：「子どもの『ヤル気』引き出し術～とっておきの秘策を伝授します～」
講師：(株)脳レボ 代表取締役・川谷潤太氏



162名が参加した研修会

今年度の研修会は「親学」を研究主題として進めてまいりました。参加者の実践発表の感想では、「それぞれの地域や学校にあった取り組みが参考になった」等、他地域の取り組みを知る良い機会となったという意見が多くありました。今後のPTA活動の中で継続していくもの、新たに始めるもの、廃止するものなど、現在の生活スタイルにあったPTA活動が必要だと感じました。

講演の感想では、「子育てをする上で非常にいい刺激をもらった」等、参加者の96%が大変良かったとの意見でした。心(意識)の方向の大切さを学び、物事に対して、できるとするか、できないと思うかで結果が違い、どうやって子ども(大人)にできると思ってもらうかが大切だと感じました。

(京築ブロック会長 山下鉄平)

主役!// 通信



親子ふれあいボランティア作業

北九州

鞍手町立古月小学校

古月小学校は、全校児童60名、45世帯の小規模校です。日頃より校区育成部会の方をはじめ、地域の方、保護者の皆さんと一緒に協力しながらPTA活動を行っています。

PTA行事の一つとして、毎年運動会前に運動場の整備や除草作業、廃品回収によるリサイクル活動を、地域の方々や保護者、学校職員と共にする「親子ふれあいボランティア作業」を行っています。みんなで行うことでいろいろな方と話す機会ができ、コミュニケーションを深められる活動です。廃品回収は児童が来校時に古紙や段ボール、アルミ缶などを保護者や地域の方と協力しながら運んでくることで、環境やリサイクルに対する意識を高めることにもつながっています。

また、今年度の運動会はコロナ禍でできていなかったPTA競技を5年ぶりに再開す

ることができ、卒業生も含め保護者の皆さんも運動会に参加し、楽しい思い出をつくることができました。

小規模校の人数だからこそ、地域の方に支えられ協力のもと、学校と保護者によるPTAが一体となってさまざまな活動を行っています。今後も子どもたちの笑顔がたくさん見ることができるよう、さまざまな活動に取り組んでいきたいと思ひます。

(古月小PTA会長 熊井亜紀子)



親子ふれあいボランティア作業の様子

気まぐれ見守り隊結成!

京築

築上町立八津田小学校

八津田小学校は、周防灘に面した自然豊かな地域にある学校です。近くには航空自衛隊築城基地があります。早期からICT教育に力を入れており、令和4年に新校舎になってからは、さらに環境が整いまし

た。創立150周年の歴史ある本校では、保護者や地域の方々が教育への関心が高く、非常に協力的です。

「気まぐれ見守り隊」は、PTAで自主的に始めた活動の一つです。「できる人ができる時間に、黄色いベストを着て子どもたちをあたたく見守る」というのが主な活動内容です。今後、さらに隊員を増やして、「そこここに見守り隊が!」という風景をつくり、今以上に安心・安全な校区になるよう活動していきます。危険箇所を盛り込んだ「安全通学マップ」も作成予定です。

本校では、来年度からのPTA任意加入に伴い、PTA活動のボランティア制度を始めます。これからもPTA活動が会員の皆さんの重荷にならないよう創意工夫を重ねていきます。

(八津田小PTA会長 安東航)



子どもたちの様子を注意深く見守ります

できる時にできる人が!

筑豊

田川市立大浦小学校

大浦小学校は全校児童数98名の単学級の小規模校です。昭和50年9月22日に大浦小学校交通安全少年隊が発足し、以来、地域・保護者・先生方で挨拶運動や地域見守り隊の活動に取り組んだり、福岡県子ども交通安全大会で『学童交通安全運動実践最優秀校』を45年連続で受賞するなど、実績を積み上げています。

またPTA活動は、図書委員会によるしおり作りや給食委員会による保冷剤ポーチ作り、成人教育や家庭教育委員会では薬

物乱用教室やスマホケータイ教室の司会・運営、広報委員会では卒業文集作りなど、無理なく、保護者同士わいわい言いながら楽しんで活動しています。それ以外でも、学校行事や学年行事の際、学校応援団・学習応援団として「これる時にこれる方が」応援にかけつけてくれています。

PTAの活動は、大切なすべての子どもたちのためのものです。これからも大浦小PTAとして、子どもたちを応援していきます。

(大浦小PTA会長 四本直良)



6年学習応援団～親子ふれあいフラワーポットづくり

福岡

笑顔つながる活動!

糸島市立南風小学校

南風小PTAは、令和5年度からボランティア制を導入し、皆が笑顔になれる活動を行っています。スローガンは「親子・先生・地域をつなぎみんなで楽しむPTA～大人の笑顔は子どもの笑顔～」。子どもの安全を守る活動として、交通安全看板を電柱幕へ交換してより安全に。旗当番表作成ツールを導入してスタッフの負担を軽減しながら、登下校を見守るボランティアさんを募集、地域と共に子どもを見守る活動をすすめています。

また、笑顔を広げる活動として、大人と子ども



もが鬼ごっこを楽しむ「南風小版逃走中」、保護者が先生になる「保護者先生」、プロの音楽家による「南風キッズ音楽祭」、九州大学生とすすめる「科学教室」等を行っています。

今後も学校、地域の皆さんと手を取り合い、笑顔がつながり広がる活動をすすめていきます。

(南風小PTAキャプテン 郷原真一)

北筑後

子どもと地域の架け橋に

久留米市立大善寺小学校

久留米市立大善寺小学校校区は久留米市南部に位置し、1600年余りの歴史をもつ日本三大火祭りの一つ「鬼(おに)夜(よ)」や、ウナギ料理で有名です。



学校デイキャンプで白熱したドッジボールの試合

大善寺小学校PTAでは、コロナ禍の数年間中止していた「学校デイキャンプ」を令和5年度に復活させました。昼から夜までペタンク・ドッジボール・太鼓体験・肝試し・花火などをして目いっぱい楽しむ内容で、休日かつ自由参加にもかかわらず全校生徒約500名のうち3分の1が毎年参加するほど人気を博しています。

イベント当日は、先生方のお力は借りずに在学生保護者・大善寺小卒業生・老人クラブ・青少協・学童クラブなどからボランティアを募って運営します。この運営方針が子どもと地域とをつなぐ架け橋となり、地域ぐるみの子育て意識の向上や、校区内の防犯レベルの底上げに寄与するもの信じ、今後も「子ども第一」を理念に活動していきます。

(大善寺小PTA会長 森竜洋)

南筑後

変化に対応していくPTA活動

柳川市立東宮永小学校

柳川市立東宮永小学校のある柳川市は、福岡県の南に位置し「水郷柳川」として知られています。また、琴奨菊関(現、秀ノ山親方)は本校の出身であり、毎年本校でふれあい会を催していただいております。

アフターコロナとなった今、「コロナ禍以前のPTA活動」ではなく、「時代の変化に対応していく持続可能なPTA活動」を目指し、PTA役員と共に、変えられることは恐れずに変化させてきました。

特に今年度は①あいさつ、なかよし登校②夏休みプール開放について取り組みました。①は児童の集団登校に保護者が付き添う取り組みです。地域の方への元気なあいさつや交通マナーを教える目的です。成果として、長期休み後の児童の遅刻率減少と交通マナーが良くなりました。②は保護者が監視人となり、夏休みに学校プールを開放する取り組みです。夏休み5日間の開放で延べ100名以上の児童が遊びに来られました。

PTA活動を通じて子どもたちの笑顔を見ることが一番の喜びです。これからも「時代の変化に対応していく持続可能なPTA活動」を目指し、子どもたちのた

単PがPTA



めにPTA役員と共に活動していきたいです。

(東宮永小PTA会長 西田健一郎)



夏休みにプールで遊ぶ子どもたち

令和6年度
【市・町・村】
代表者会議

テーマ

「魅力あるPTA活動について

～誰でも安心して取り組めるこれから先のPTAのありかた～



福岡県PTA連合会（県P）の役員が県内の各地域に出向き、現地PTAの皆さんと語り合う【市・町・村】代表者会議。令和6年度は10月から12月にかけて開催されました。各ブロックに参加した県P副会長が会議の様子をレポートします。

11/21
(木) 筑豊

多彩な活動報告で学びを深めて

地域と深くつながり、PTAと子ども会が連動しているところもあれば、一方では広い校区であるが故に地域や保護者同士がつながる機会が少ない等、同じブロック内でも違う様子。印象的な活動は、子どもが学校に慣れる、身近に感じる、楽しいと思えるようにすることを目的としたものや、災害や事故に備えるために親子で学んだり、夏休み明けに登校するのが楽しみになるような企画を立てている単Pや、子どもと市長がふれあえるための対談会を行ったり、各単Pの情報交換として、取り組みを発表し合う場や悩みを共有する機会を設ける等を行っている市P連がありました。参加者は少数でしたが、多彩な活動報告はとても充実しており、お互いの学びを深めることができました。

(星野美由紀)

10/11
(金) 南筑後

親しみやすい名称に変えるのもアリ!?

南筑後では魅力あるPTA活動とするため、まさに今が変化の時で、どのように変えていくことが必要かについてさまざまな意見が出されました。例えば、委員選出の悩みに対して今年からボランティア制に変えてみようか、と考えている方や、児童に聞いて活動を増やし、それに伴い自然と親も参加する形で取り込んでいく、活動のハードルを下げ入り込みやすい環境を整え、会話を増やしながら活動していく、さらにPTAの名前が硬いから親しみやすい名前に変えて活動するのもありかもという意見まで出ました。

話し合いの中で皆さんがマイナスな話ではなく、プラスに考え、前向きに意見くださったので、変化を恐れることなく誰でも安心してできるPTA活動がこれからもできると思いました。

(杉山美智子)

11/30
(土) 福岡

大人の笑顔は子の笑顔

福岡ブロックでは学校数がかかり多中、さまざまな工夫をしてPTA活動を行っている学校の現状を聞くことができました。これからのPTAのあり方についても、今まで通りではなく継続できるカタチが大事、という意見や「大人の笑顔は子の笑顔」というテーマを掲げ取り組んでいる学校のお話に皆さん共感できる部分がたくさんあり、今後も地域・学校・PTAとお互いwin-winの関係を築いていくことが、魅力あるPTA活動につながっていくのではとの意見もあり有意義な時間となりました。

規模はそれぞれ違うけれど、この会議を通じて共感できることも多々あることを感じ、まだまだいろんな学校の取り組みなど知りたいと思える時間でした。

(松尾菜美子)

10/18
(金) 京築

改革に取り組む姿勢は共通

同じ地区・地域でも抱える問題や、PTA活動の進め方はさまざまでしたが、コロナ禍以降、PTA活動の改革をしている、または改革しようとしている点は共通していたのが印象的でした。また、理想は一つの行事が学校、子ども、保護者にとってメリットになることですが、各家庭の生活が多様化する中、行事の手伝いをしてくれる保護者の確保や、先生の働き方改革などを考えると、企画・実行することが難しくなっているのも現実のようでした。基本的には「できる人が、できる時に、できることを」ですが、まずは会員である保護者が「優先して参加したくなる」行事を考えていくことが今後の課題になると思いました。そのためにもっとたくさんの方の意見や事例を聞きたいと感じました。

(藤原健太郎)

12/12
(木) 北九州

大人の部活動として楽しく

PTAを大人の部活動として、活気のある様子や地域との関わりを大切にもっているなどの頼もしい話題はとても明るい気持ちになりました。その一方で、役員の担い手を見つけるのに苦心されている、コロナ禍や働き方改革の影響で保護者同士や先生方とのコミュニケーションが思うように取れず、以前のように親しい関係性をつくりづらい等といった現状があることを知りました。そのような中で、単位PTAの組織をスリム化したり、行事ごとにボランティア制、サポーター制を取り入れていたり、持続可能なPTAとなるよう工夫が施されており、ご参加いただいた方々の熱意が伝わってきました。

(星野美由紀)

11/12
(火) 北筑後

地域で支える仕組みづくりを

北筑後ブロックでは、地域密着型のPTA活動が行われており、地域や人との関わりを昔から大事に活動されてきたことが伝わりました。各単位PTAの組織規模は地区ごとに異なるものの、さまざまな課題を抱える今だからこそ、地域とともにPTA活動を円滑に進めることの重要性が一層求められていると感じています。

少子高齢化が進み、共働き世帯が増加する中、学校や保護者だけでは、子どもたちを取り巻く環境を安心・安全に整えていくことは非常に困難です。だからこそ、地域全体で子どもたちを支える仕組みづくりが必要だと思えます。今回、ブロック活動の素晴らしさを改めて学ぶ貴重な機会をいただき、心より感謝申し上げます。

(平嶋祐介)



(会長 鬼頭良典)

「市・町・村」代表者会議は、市町村代表者の方々と有機的連携を図ることを目的に毎年開催しています。今年もこの会議を通して、各市町村の代表者の方々とつながりを深めることができ、大変有意義な会議であったと思います。ご出席いただきました方々に感謝申し上げます。

PTAは、過渡期にあると考えておりますが、子どもたちのため、地域社会のために、前向きに取り組んでいくことが大切です。課題に真摯に向き合い、必要とされる組織運営をめざして引き続き精進していきたいと思えます。

今後とも持続可能なPTA活動をめざして共に創造していきましょう。

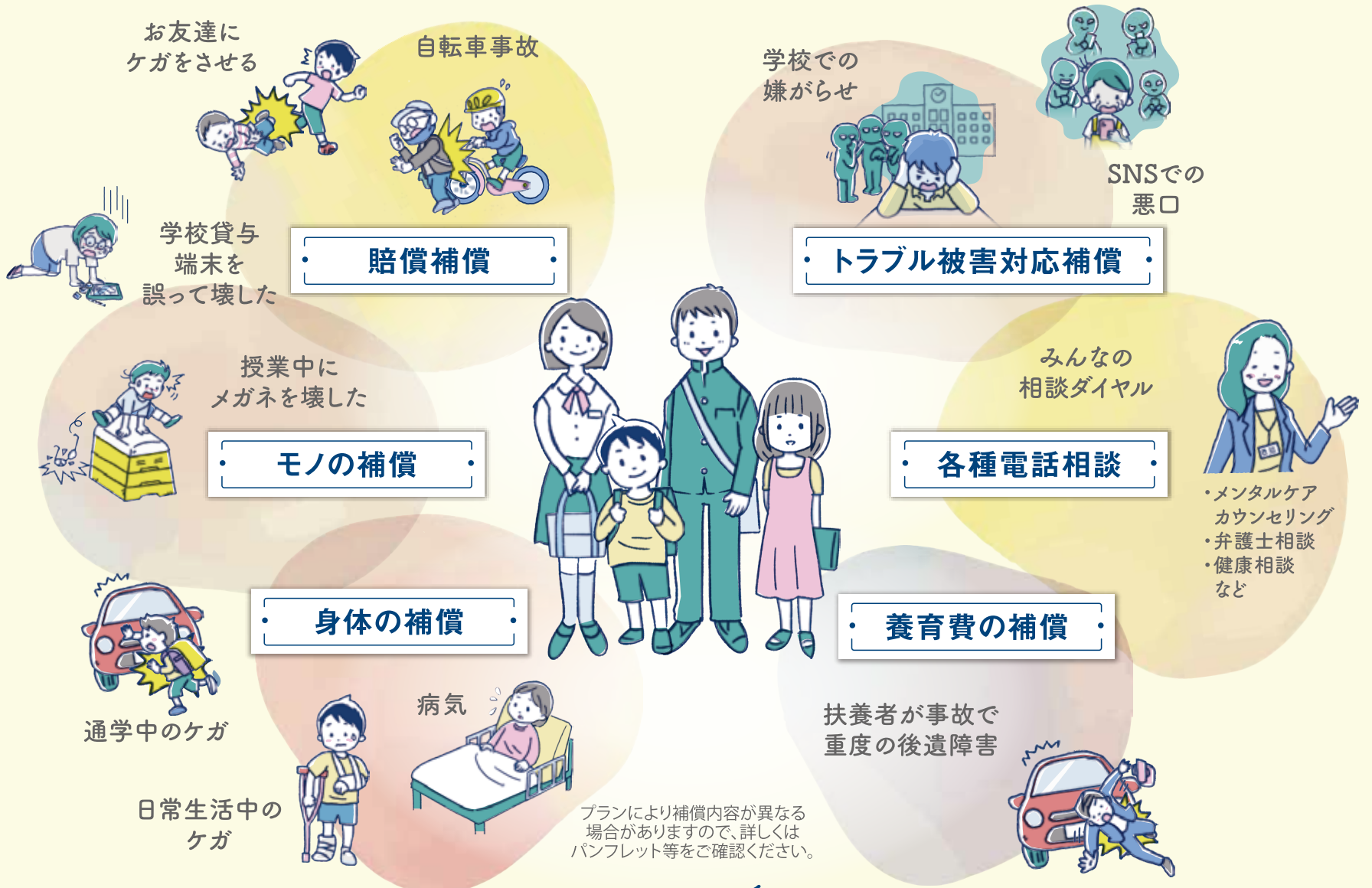
6ブロックの 会議を終えて

福岡県PTA連合会

2025年度版

小・中学生総合保障制度ご案内 [こども総合保険]

たくさんの安心で大切なお子さまの成長をサポートします



学校がお休みの日も補償します。
24時間 補償対象!
ただし、一部の補償は24時間補償ではありません。

福岡県自転車条例に対応!
すべてのプランに**個人賠償責任補償付**
(示談交渉サービス付*) *国内のみのサービスとなります。

詳しい補償内容は、学校より配布されます「小・中学生総合保障制度」パンフレットをご確認ください。また、ホームページでも詳しい補償内容をご説明しておりますので、ご確認ください。

AIG損害保険株式会社
『お子さまのための総合保障制度』
<https://riskfinder.jp/school/>



■制度に関するお問合せ先(取扱代理店)
株式会社コーリン(福岡県PTA連合会 保障制度事務局)
〒810-0022 福岡市中央区薬院4丁目3-5 セレス薬院5F
<https://www.pta-corin.com/>

通話料無料 **0120-228-553**
受付時間/平日 午前9:00~午後5:00

■引受保険会社
(幹事会社) AIG損害保険株式会社 福岡支店
(非幹事会社) 東京海上日動火災保険株式会社 損害保険ジャパン株式会社 三井住友海上火災保険株式会社 Chubb損害保険株式会社



山際千津枝の

— マングースの独り言 —

Vol.126

食べるってなあに

やまぎわ・ちづえ

食をコミュニケーションツールと考えている料理研究家。その他エッセイスト・テレビ、ラジオのコメンテーター。現在は博多阪急デパートにおいて地下食品販売部アドバイザーを務める。

言葉遣いにも 普段着とよそ行きがあります



60歳まで小倉で暮らして今は博多に住んでいる私。先日ご近所さんに「山際さんエレベーターの中で、よくご主人と喧嘩していらっしやいますね、ホホ…」と。えっ！エレベーター内は公共の場所、いくら何でもそこで喧嘩した記憶はありません。あーそうだと私たち夫婦の小倉弁が博多の人には言い争いに聞こえているのかもしれない。語尾に「ち」とか「ちゃ」をつける小倉弁は大好きなのですが。

今から10年ほど前も冷や汗をかいたことがあります。東京のホテルで知り合いの女性と待ち合わせをしていましたが、居場所が分からず何度も携帯に連絡を入れました。やっとホテルのカフェにいるのを見つけ「ジャンジャン電話をしてごめんなさいね」と駆け寄りました。すると、知人の連れらしい女性から「じゃんじゃんってどんな意味ですか」と突然の質問。うっかりしていました。ここは高級ホテルなのです。私、一瞬たじろぎましたが気を取り直して「ジャンは一度電話すること。二度かけましたからジャンジャンと申しましたの。覚えておかれると便利だと存じますが」と返しました。人の言葉尻を捉えてきついことをいうニセ貴婦人も存在するので皆さんもご注意くださいね。

ある時はテレビのレポーターさんが泣いているので、どうしたのか

と聞くと、年上のゲストに試食品を「食べてください」と言ったのを、ディレクターから「お召し上がりくださいとなぜ言えないのか」ときつく叱られたそうなのです。昔はテレビ局も言葉遣いに厳しかったのです。

皆さんはどうでしょう。「食べ」「食べなさい」「お召し上がりください」あるいは「よく来たね」「よくいらっしやいました」「よくお越しいただきました」など使い分けていますか。普段着の言葉は親しさや親密さを感じさせますが、改まった言葉は尊敬の気持ちを伝えてくれます。

学校の先生にも普段の言葉で話しかける時代に何をと思われられるかもしれませんが、子どもさんたちは近い将来、社会に出ます。上司やお客さまとのコミュニケーションで普段着の言葉は使えません。そこから「丁寧語」「謙譲語」「尊敬語」などを学び始めるのはどんなに大変か。言葉遣いで社会への第一歩がつかずいてしまうのはもったいないとは思いませんか。私が知人、友人、親戚、職場仲間、ご近所さんなど他者と食卓を囲むのをすすめる理由はそこにあるのです。

「やば」「旨い」「美味しいです」「良いお味です」「美味しゅうございます」いろんな言葉が交わされる食卓こそ学びの場なのです。

令和7年度

単P会員の皆さんへ

PTA役員研修会

単位PTAの活動に役員、教職員として携わる皆さまを対象に、PTA活動の経験や課題などを共有し、意見交換する研修会です。今年度は4つの分科会に分かれ、テーマについてより深めていきます。単P活動を楽しく有意義なものにするためのヒントがいっぱいあります。ぜひご参加ください。

日時 令和7年4月13日(日) 13:00~16:00

会場 朝倉市総合市民センター (ピーポート甘木)
(朝倉市甘木198-1)

参加対象 令和7年度単位PTA役員予定者、令和6年度役員、教職員、担当委員、その他単位PTAが必要とされる方

【日程および内容】

- 13:00~13:15 開会行事
- 13:15~14:15 研修Ⅰ(全体会)
講演「はじめましてPTA! ~楽しむ為の活動ポイント~」
講師 福岡県PTA連合会 元会長 西村澄子氏
- 14:30~15:55 研修Ⅱ(分科会)
①各テーマによる分科会 ②質疑応答
- 15:55~16:00 閉会行事

★研修Ⅱ(分科会)

分科会	内容
第1分科会	PTA運営 ○長崎県PTA連合会 前会長 山本道雄氏による講演会 ○グループディスカッション
第2分科会	広報紙づくり研修会 ~広報紙は気づきと築き~ ○日P広報紙コンクール受賞校インタビュー ・糸島市立前原南小父母教師会 ・宇美町立桜原小PTA ○グループディスカッション
第3分科会	これからのPTA ~任意加入について考えよう~ ○県内の加入状況及びガイドランの活用について ○福岡県PTA連合会会長説明
第4分科会	SNSトラブルへの対応について 講師：NPO子どもとメディアインストラクター 江頭久美氏

※テーマ等詳細については変更になる場合があります。ご了承ください。

学ビバ!! FUKUOKA 2024福岡市大会

歌手・木山裕策さんの講演とミニコンサート

「子育てで深めよう家族の絆」



福岡第一高校吹奏楽部の皆さんとのミニコンサート♪最高に気持ちのいった歌声を聴かせていただきました!

1月18日、「学ビバ!! FUKUOKA 2024福岡市大会」が開催されました。

今年度は温かい歌声に定評があり、4人のお子さんをおもちの木山裕策さんが講演。甲状腺に悪性腫瘍が見つかり、先生に「明日から声が出なくなるかもしれません」と言われ、そこから奮起し歌手という夢を叶えるまでの経緯と子育てについてお話しされました。

特に印象に残っているのは、子どもたちがなにか問題にぶつかる前に障壁を取り

除いてあげるのではなく、倒れたあとにどう起き上がれるようになるかを教えていきたいと言われたことです。また、木山さんは夫婦でのティータイム(語らう時間)を大事にされている

そう。共働きでお互い忙しくても、話すことで気づきを共有でき、また子どもたちも自然と会話に入ってきて、自分の意見を言ったり、相手の意見を理解したりする力も出てきているそうです。「家事も役割分担ではなく、お互いがすべてを自分のものとして考えていきましょう」など、目から鱗な話ばかりで、とても実りある講演でした。

*(副会長 杉山美智子)



◎「学ビバ!! FUKUOKA」は福岡県PTA連合会、福岡市PTA協議会、北九州市PTA協議会で構成される三P協が毎年持ち回りで開催しています。